

第5回消防力強化のための勉強会の概要

日 時:平成 29 年3月28日(火) 午後3時30分～4時30分

場 所:大阪府庁災害対策本部会議室

《主な意見(順不同)》

◆平成 28 年度消防力強化に関する検討結果とりまとめについて

○ 国の消防審議会の答申で、大きな項目として、通信指令台の共同運用がある。この勉強会の中の議論で、水平連携のカテゴリの中では「人材育成」「資機材の充実強化」などはあるが、指令台の共同運用の議論はない模様。

⇒府) 水平連携については、国の審議会の動きとは別に、事務局として提案させていただきもの。国の答申では、広域化だけでは進まないところを、できるところからというので水平連携も入ってきて、通信指令台も入っている。来年度、水平連携を検討していく際には、国の答申との整合も見えていく必要があると思う。

⇒府)これをもって、28 年度のとりまとめは「了」とさせていただく。

◆消防力強化に係る今後の検討について

○ 資料3の6ページの表現について、ポンプ車の 3 人乗車と 4 人乗車を比較する際の表現について、誤解をまねかないよう工夫してほしい。

⇒府)ご指摘踏まえ、表現を工夫させていただく。

○ 今後の進め方について、実務者によるワーキング的なものを考えているとのことだが、どの程度のレベルを考えているのか。

⇒府)まだ具体的なものではないが、係長などの現場実務者レベルを考えている。今後調整させていただきたい。

基本的に「了」。修正等あれば後日でも申し出ていただきたい。

◆その他

○ 勉強会の動きを気にしている本部もある。他の本部にはどの程度の情報が届いているのか。

⇒府)全消防本部及び危機管理部局に対して、毎回の会議開催後、資料と議事概要を送付している。また 2 月の市町村危機管理担当課長会議と消防本部担当課長会議で、とりまとめ素案の概要を説明済み。ただ、踏み込んだ議論まではできていないので、来年度はしっかり議論をするステージをつくっていききたい。また、来年度早々に、消防本部を個別にまわりたい。顔を合わせて議論をすることで、より切実な思いも出てくると思われるので個別に話をしたい。

○29 年度の年度末までの検討方針は出たが、そこから先はどのようになると考えているのか。

⇒府)スケジュールでご説明をしたとおり、年度後半は、首長との議論を通じて、方向性を決めていけるステージへ移行したい。いろいろな場をお借りしながら、議論ステージをつくっていききたい。

30 年度以降をどうするかは、議論の行方によって変わるので、議論を進めながら枠組みを作って、

次の議論をできるステージへ行きたい。

○来年度の組織について。

⇒府) 構成団体のうち、各地域の消防本部は、摂津市消防本部、守口市門真市消防組合消防本部、岸和田市消防本部に代わり、それぞれ高槻市消防本部、大東四條畷消防本部、貝塚市消防本部となる予定。先般、各本部に説明し、ご了解をいただいた。